

## 長野市立小中学校クール化プロジェクト事業における PPP/PFI 手法導入優先的検討について

教育委員会総務課／公共施設マネジメント推進課

### 1 長野市 PPP/PFI 手法導入優先的検討方針

#### (1) 対象事業

- ・事業費総額が 10 億円以上の公共施設整備事業
- ・運営費等が単年度で 1 億円以上の公共施設整備事業

#### (2) 対象事業の例外

- ・災害復旧事業等、緊急に実施する必要がある公共施設整備事業
- ・法的制限により民間事業者による公共施設整備事業が実施できない場合

### 2 小中学校クール化プロジェクト事業について

#### (1) プロジェクトの概要

近年の夏の暑さを考慮し、ハード・ソフト両面からの取り組みにより、小中学校普通教室等の室温適正化を進めるもの。2021 年度までに小中学校の普通教室等に冷房機器を整備することを目指し、整備方針の策定に向けて、これまでにサウンディング型市場調査や全校温湿度環境調査などを行ってきた。

#### (2) 平成 30 年夏の気候

##### ○7 月 23 日気象庁会見

- ・命の危険がある暑さ。一つの災害と認識しているとの見解を示した。

##### ○長野地域

- ・6 月～8 月の平均気温は、平年差 +1.6℃で、統計開始 (1889 年) 以降、高い方から 2 番目を記録
- ・7 月最高気温が 32℃超 23 日 (うち 35℃超 8 日)。平均気温は観測史上最も高い。
- ・8 月最高気温が 32℃超 20 日 (うち 35℃超 9 日)。37℃を超える日 4 日。

#### (3) 酷暑を受けての国の動き

- ・平成 30 年 10 月 15 日、学校の緊急重点安全確保対策として、熱中症対策としてのエアコン設置について、補正予算を閣議決定。

※補正予算の場合、国の補助裏分へ補正予算債の活用が可能。

補正予算債は充当率 100%、元利償還金の 60%が交付税算入されることとなった。

### 3 PPP/PFI 手法の導入について

PFI 手法は、一般的に事業者選定後は、事業完了までの期間は短いものの、公平性の確保や導入後のトラブル防止のために、性能発注のための仕様書(募集要項)作成の期間など、業者選定までのプロセスに時間を要する。

### 4 本事業の整備手法について

今夏、本市においても、災害的な猛暑に見舞われた中、小中学校施設における冷房機器整備は、早急に対応しなければならない。

国は、補正予算による対応を行うこととした。本市も国の補正予算に呼応することで、補正予算債の活用を含め、財源が有利になることが見込まれる。

長野市 PPP/PFI 手法導入優先的検討方針においても、対象事業の例外として、「緊急に実施する必要がある公共施設整備事業」と記載している。

これらの状況を踏まえ、一括発注を前提とした PFI 手法ではなく、従来手法により、設計が終了した段階で、順次発注していくことで、できるだけ多くの学校に早期に冷房機器整備を目指すこととする。